

1 校 訓 「正しく たくましく おおらかに」

2 学校教育目標

未来へ向かい 学び続ける佐津っ子の育成
 ~ふるさとに根を張って~

- めざす子ども像**
- 自ら学び、自分の思いを表現できる子
 - 豊かな心を持ち、自他を大切にする子
 - 体を鍛えるたくましい子
 - めあてを持ち、最後までやりぬく子
 - 基本的な生活習慣を身に付け、生活をよりよくしようとする子
 ①自分からあいさつ ②しっかり掃除 ③きちんと後片付け
 - ふるさとを大切にする子

- めざす学校像**
- 子どもと教師の瞳が輝く学校
 - 元気なあいさつが響き合う学校
 - 人権文化が薫る学校
 - 地域に開かれた信頼される学校
 - 安全・安心な学校
 - 家庭・地域と協働する学校

- めざす教師像**
- 子どもを認め、「ほめる」指導でやる気を育てる教師
 - 子どもと積極的に触れ合う教師
 - 専門的指導力の向上に努める教師
 - 優れた人権感覚をもつ教師
 - 幅広い社会性を身につける教師
 - 危機管理意識の高い教師
 - 心身ともに健康で快活な教師

3 学校教育の視点

今日、子どもたちを取り巻く状況は人工知能（AI）等先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが予測不可能な時代になりつつあります。これからの時代を生きる子どもたちには、AIなどと共存し、コミュニケーション能力や読解力、柔軟な判断力など、人間だけにしかできない能力の育成が求められています。

令和4年度は香美町の教育・保育がめざすべき姿を示した「第2期香美町教育振興基本計画」が施行されます。この教育振興計画の基本目標「ふるさとを愛し、夢や志を抱き、共に未来を切り拓く人づくり」の具現化を図るため、香美町ならではの、また、佐津小ならではの教育を推進し、子どもたちに「生きる力」を育成していかなければなりません。本校の小規模校という「強み」を最大限に活用し、全教職員が一丸となり、個に応じたきめ細かな指導を通して、子どもたち一人一人に「生きる力」を育成していく教育活動を行っていかねばなりません。さらに中学校との連携を強化し、併設幼稚園であることの強みを活かすなど、中1ギャップ・小1プロブレムに対応した教育を推進していきます。

「第2期香美町教育振興基本計画」に示された諸施策の具現化を図るために組織的に取り組み、実効性ある学校経営を推進していきます。

- ① すべての子どもに「学び」が生まれる機会をつくる。偶然から必然へ。
- ② 学び合い、磨き合い、高まり合い、笑顔があふれる安全・安心な学校の構築に努める。
- ③ 保護者や地域の願いを真摯に受け止め、連携し、地域に開かれた学校づくりを推進する。
- ④ 地域の自然・人・文化・伝統等の資源を最大限に活かす学校づくりを推進する。
- ⑤ 職員間で情報共有に努め、相互の信頼関係を強めることにより学校教育目標の実現を図る。
- ⑥ 「学校版教育環境会議」を通して、教育の質的向上・教育活動の活性化を図る。

⑦ 「教職員の勤務時間の適正化」を学校経営上の重要な柱とし、教育活動に反映させる。

4 具体的な取組

「未来へ向かい 学び続ける力」を育む ～知・徳・体の調和がとれた人間の育成～

(1) 学校で学ぶ

確かな学力づくり（知）	豊かな心づくり（徳）	健やかな体づくり（体）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本の確実な定着と、活用する力の育成に努める。 ○ 自ら学び、考え、行動する態度・能力を育てる。 ○ 学ぶ喜びを共有し、互いに高め合う授業づくりをする。 ○ 少人数の利点を活かし、課題を克服する指導形態・内容の充実に努め、個に応じたきめ細かな指導を推進する。 ○ 次の指導に生かす評価の充実に努める。 ○ 「学校間スーパー連携チャレンジプラン」の充実・発展に努め、実効性の向上を図る。 ○ 子どもが安心して学習できる場となる学級づくり・学校づくりを推進する。 ○ 読書・朝新聞の環境整備に努め、子どもたちの言語活動充実に努める。 ○ 地域の教育資源の活用・外部講師の招聘・出前授業の実施等、多様な教育活動を推進し、学習意欲の向上を図る。 ○ 家庭学習を一層充実させ、望ましい学習習慣を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育を推進するため、特別の教科道徳の時間の充実・兵庫版道徳教育副読本の活用法の研究・地域道徳教材の開発・資料の共有化等に努める。 ○ 多様な交流・体験活動等を通して、自他の命を重んじる心・共生の心、自尊感情を育成するとともに、部落差別の解消をめざす教育課程の編成・実施に努め、人権教育の充実に努める。 ○ 家庭・地域と連携したあいさつの励行等に努め、基本的生活習慣の確立を図る。 ○ 子どもと向き合う時間の確保に努め、教師との人間関係の構築・深化を図る。 ○ 言語環境の整備・教師自身の人権感覚の向上に努め、人権文化の薫る学校づくりを推進する。 ○ 異年齢集団による活動を通して思いやりの心・自己有用感を醸成する。 ○ 地域の災害特性を踏まえた防災教育を充実させ、危機意識と防災リテラシーの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育授業の創意工夫や全校体育の充実に努め、運動好きな子どもを育て、基礎体力の向上を図る。 ○ 休憩時間等を活用した継続的な体力づくりを推進するとともに、生涯スポーツに資する運動の習慣化を図る。 ○ 外遊びを推進する。 ○ 健康・安全の指導を徹底し、生命尊重の精神を養う。 ○ 健康教育、食に関する教育を推進し、望ましい生活習慣・食習慣の確立を図る。 ○ 養護教諭による家庭への積極的な情報発信に努め、保護者への啓発を推進する。 ○ 合理的配慮が必要な子どもへの指導を担任との連携・全職員との協働により充実させ、心身の安定を図る。 ○ 村岡ミニミニ駅伝大会、香美町小学生卓球大会等への参加をとおして体力の向上と個性伸張を図る。

(2) 家庭でしつける

<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭での学習習慣定着を一層図るため、家庭訪問・学級懇談会等で情報交流するとともに、個に応じたきめ細かな家庭学習の指導に努める。 ○ 読書活動と連動した望ましい学習環境の整備（テレビ・ゲーム・タブレット等の時間削減等）を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的生活習慣（あいさつ、そうじ、後片付け等）の定着を図る。 ○ 社会規範の基礎（善悪の判断・公共心等）を具体的事例により継続的に指導し、定着を図る。 ○ 地域行事（差別をなくする町民のつどい等）・学P活動・ボランティア活動への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 早寝・早起き・朝ごはんの習慣化と睡眠時間の確保に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・低学年9時間以上 ・高学年8時間以上 ○ バランスの良い食事・排便の習慣化・スポーツや外遊び、集団遊びへの支援に努める。
---	---	---

(3) 地域で育てる

<ul style="list-style-type: none"> ○ 人材の発掘・登用・活用に努める。 ○ 校区の人・自然・文化・伝統・歴史等を学ぶ活動・機会を通して地域への理解・愛着を深める。 ○ オープンスクール、給食試食会等を実施し、「開かれた学校」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域行事（体育祭・文化祭・祭礼等）への積極的参加を推進する。 ○ 地域全体でのあいさつ運動を推進する。 ○ 地域美化活動等への参加を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「スポーツクラブ21さつ」による諸活動への積極的参加を推進する。 ○ 香美町卓球大会・剣道大会等、地域のスポーツ行事への積極的参加を促す。
---	---	--

づくりを推進する。		
-----------	--	--